



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1771		
科目名	TOEIC演習 1		
担当教員	田中 竹史		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 5		
講義室	1205	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	7 語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E 〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 3－H 〔論理的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 D P 4－I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 6－K 〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C P）との関連 E 1 学識と専門技能 （10%） H 1 論理的思考 （10%） H 2 批判的思考 （10%） I 1 理解・分析と読解 （50%） K 1 ライティング・コミュニケーション （20%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		

科目概要・キーワード	外国語科目において涵養された英語の知識や技能を基に、英語で書かれた作品、言語・文化論、新聞記事など、幅広いトピックを題材として、大学生として必要な読解力を中心とした総合的な英語力を完成させることを目標とします。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 (キーワード) リーディング・情報構造・メタ言語知識・複言語主義
授業の趣旨	■副題 Reading Comprehension ■授業の目的 科学、文化、言語など幅広い分野にわたる英文を読み、その大意や細かい情報を読み取る力を向上させることを目的とします。また、日本語を情報源とするのみでは理解できないような世界の動向や異文化を知るために、英語を情報源として使えるようにします。なお、必要に応じて資格試験の読解部分にも目配りをします。 ■授業のポイント 大学教育に英語を活用できるように、実践練習を通じて英文読解力を養います。
総合到達目標	■ 一般目標 (GIO) グローバルな視点を養うために、基礎的な文法・語彙を定着させるとともに情報を読み取る方法を実践し、やや高度な英文読解力を修得する。 ■ 個別行動目標 (SBOs) 1. 日常で頻出する基礎的な英単語、英語表現の意味を説明できる。(第2-13回) 2. 基本的な品詞・時制を適切に使用することができる。(第2-13回) 3. 基本的な動詞の文型を適切に作ることができる。(第2-13回) 4. 基本的な文タイプ(平叙文、否定文、疑問文など)を適切に作ることができる。(第2-13回) 5. 復習として、授業で取り上げた英文・表現を読み直し、辞書や参考書等で単語の意味や文法を詳細に調べることができる。(第1-15回) 6. これまで学修した文法項目が現実の文中においてどのように使用されるかを説明することができる。(第2-13回) 7. 英文の読み方に関するスキルを使って、様々な文章を正しく読み、必要な情報を読み取ることができる。(第2-13回)
成績評価方法	(適用ルーブリック) E1:3 0 %、H1:1 5 %、H2:1 5 %、I1:3 0 %、K1:1 0 % (成績評価手段) ■授業内テスト (Written test) (40%) (評価の観点) 当該単元の理解度を測ります。 (フィードバック方法) 授業内で講評を行います。 ■授業参画度 (Class Interaction/Participation) (30%) (評価の観点) 協力的かつ積極的にアクティビティに参加しているか、講師の指示に従っているか。 (フィードバック方法) 授業内で主に口頭にて適宜フィードバックを行います。 ■授業時間外課題 (Homework) (30%) (評価の観点) 期限内に提出を行ったか、文法・単語・表現について理解しているか、トピックに対して適切な内容を表現しているか、指定されたフォーマットに沿った作成方法および提出となったか。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行います。
履修条件	英語演習 3 を同時に履修すること。
履修上の注意点	1. レッスントピックやマテリアルは履修者の学修の進度により変更になる場合があります。詳細は授業内でお知らせします。 2. 必ず新しいテキストを購入すること。また、テキストは毎回の授業に必ず持参すること。 3. 講師の指示がない限り、授業内での携帯電話の利用を禁止します。 4. 宿題、課題は必ず期限内に実施すること。 5. 授業を欠席あるいは遅刻をした場合、宿題・課題等の確認は自分自身で責任を持って行うこと。欠席、遅刻は宿題・課題を完了できなかった理由にはなりません。 6. 授業は学生主体で行われるため、間違いを恐れずに積極的に参加すること。

授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 授業の概要等 ②授業概要 授業の目的、成績評価方法、テキスト等を確認する。また、導入として、基本的な英語力を測る問題演習を行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習(30分) シラバスとテキストの「はじめに」を読む。 ④復習(60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
	2	①授業テーマ A King's Love Created the Church of England (1) ②授業概要 Chapter 1, Unit 1: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習(60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習(60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
	3	①授業テーマ A King's Love Created the Church of England (2) ②授業概要 Chapter 1, Unit 1: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習(60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習(60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
	4	①授業テーマ The Protestant Clergy May Marry (1) ②授業概要 Chapter 1, Unit 2: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習(60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習(60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
	5	①授業テーマ The Protestant Clergy May Marry (2) ②授業概要 Chapter 1, Unit 2: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習(60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習(60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
	6	①授業テーマ Polygamy in America (1) ②授業概要 Chapter 1, Unit 3: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習(60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習(60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
	7	①授業テーマ Polygamy in America (2) ②授業概要 Chapter 1, Unit 3: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習(60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習(60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
	8	①授業テーマ Shinran was the First Priest to Marry (1) ②授業概要 Chapter 1, Unit 4: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習(60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習(60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
	9	①授業テーマ Shinran was the First Priest to Marry (2) ②授業概要 Chapter 1, Unit 4: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現

	に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習 (60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習 (60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
10	①授業テーマ Islam Allows as Many as Four Wives (1) ②授業概要 Chapter 1, Unit 5: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習 (60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習 (60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
11	①授業テーマ Islam Allows as Many as Four Wives (2) ②授業概要 Chapter 1, Unit 5: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習 (60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習 (60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
12	①授業テーマ Legalizig Same-Sex Unions (1) ②授業概要 Chapter 2, Unit 1: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習 (60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習 (60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
13	①授業テーマ Legalizig Same-Sex Unions (1) ②授業概要 Chapter 2, Unit 1: 標準的な語彙を使用した英文を読み、ペアワーク等も行いながら英語表現を定着させる。また、表現に必要な英文法の確認や問題演習も行う。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習 (60分) テキストの当該箇所の内容を確認し、問題に取り組む。 ④復習 (60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
14	①授業テーマ Chapter 1 (Unit 1 - Unit 5) から Chapter 2 (Unit 1) のまとめ ②授業概要 Chapter 1 (Unit 1 - Unit 5) から Chapter 2 (Unit 1) の内容のまとめを行う。具体的な内容は、標準的な語彙を使用した英文の読解や英文法に係る問題演習等である。(E1, H1, H2, I1, K1) ③予習 (60分) テキストの当該箇所の内容を再度確認し、問題に取り組む。 ④復習 (60分) 授業時に配布した資料の確認、授業時に解けなかった問題の復習、ノートの見直し等を行う。
15	①授業テーマ 理解度確認とその解説及び総括 ②授業概要 前期中におこなった内容の理解度を確認する試験を行った後、その解説等を行う。 ③予習 (60分) テキスト内容と授業配布プリントの学習内容を再確認する。 ④復習 (30分) 前期に扱った内容の復習を行う。
関連科目	「英語演習 2 (RMGT/SSCS 1772)」(2年次前学期配当)、「英語演習 3 (RMGT/SSCS 1773)」(2年次後学期配当)、「英語演習 4 (RMGT/SSCS 1774)」(2年次後学期配当)
教科書	大橋久利、BAXTER, Blake、The Changing Faces of Marriage and Family、成美堂、ISBN 978-4-7919-4632-7
参考書・参考URL	授業時に指示します。
連絡先・オフィスアワー	質問には、授業前後の時間に対応します。それ以外の時間帯は教員室へ来るとも可能です。
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.